

審議会等会議録

審議会等の名称	第4回多世代交流・健康増進拠点施設整備専門会議
開催日時	令和3年12月16日(木曜日)9:30~11:00
開催場所	防長苑 2階 孔雀の間
公開・部分公開の区分	公開
出席者	山口県立大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 廣田智子 山口商工会議所 専務理事 大田正之 一般財団法人山口観光コンベンション協会 事務局長 田中光敏 山口大学大学院創成科学研究科 教授 鵜心治 (4名・敬称略)
欠席者	大正大学社会共生学部公共政策学科 教授 村橋克則 (1名・敬称略)
事務局	総合政策部 田中総合政策部長、山田総合政策部次長 スマートシティ推進室 宮原室長 他5名 光井純アンドアソシエーツ大建設計共同体 光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所 光井純代表取締役 同社西日本岩国オフィス 原一樹所長 株式会社大建設計 広島事務所 沖中資康設計室長 オブザーバー 都市整備部建築課 山本課長
次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1)(仮称)湯田温泉パークについて ・前回専門会議の意見整理 ・基本設計概要版(案) (2) 意見交換 4 今後の日程 第5回専門会議の日程について 5 閉会
内容	次第に基づき以下のとおり進められた。 1 開会 (省略) 2 会長あいさつ 【鵜会長】今日は基本設計の概要版を準備していただいております、これを皆さんに議論していただいた上で、2月の公表に向け、進めてまいりたいと思っております。今回

の専門会議は4回目ということで、前回、3案に絞った内容について最終的に1案、皆さんに御了解いただいて、今日はこの1案をベースとした基本設計の概要ということで、議論を進めてまいりたいと思います。今日も忌憚のない御意見をいただきながら、進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。今回も、基本設計業務を請け負っていただいております光井純アンドアソシエーツ・大建設計共同体から、光井様をはじめ3名の方に御出席いただいております。それと、山口市のほうからは建築課の課長の山本さんにも御出席をいただいております、事務局のスマートシティ推進室と、皆さんで、進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 議事

【鷗会長】それでは、最初の議題に入ります。事務局から説明をお願いします。

(1) (仮称)湯田温泉パークについて

【事務局】資料1～2について説明

(2) 意見交換

【鷗会長】事務局からの説明は以上でよろしいでしょうか。ありがとうございました。

それではここから皆さんと、只今事務局から説明があった内容について意見交換していきます。皆さんからコメント、質問等ございましたら、どこからでも結構ですので御質問いただければと思います。いかがでしょうか。前回御指摘の意見整理が資料1ですが、今回、全て反映された内容になっているということよろしいですか。

【事務局(設計)】はい。建築計画に関わる部分につきましては大体、御意見をもとにアップデートしております。

【鷗会長】一部、実施設計で検討すべき内容も含まれていると思いますので、現段階では、前回の指摘については反映できているという風に考えてよろしいようです。

【A委員】これまでの再確認ですが、浴槽部分については面積的に寿泉荘とあまり変わりないというところで、よろしいですね。

【事務局】建物部分に関しては、現在の寿泉荘と同規模ですが、いわゆる浴槽部分につきましては、やはり、利用人数の増加ですとか、現在は利用者数2万5,000人ですけれども、それを上回る利用人数、また、子どもなどを含めた多世代の利用になってまいりますし、あるいはバリアフリーの観点、様々な障がいをお持ちの方から「一定程度の浴槽の広さも必要ではないか」というような意見もありますので、このあたりは引き続き、実施設計でも適切な浴槽、風呂桶の広さをしっかり検討していきたいと思っています。

【A委員】湯田の賑わいの確保という観点など、総合的にしっかりと勘案されて、一番良い形で理論武装されるようお願いしたいと思います。

【B委員】非常に機能的な造りになっていると思っております。ありがとうございます。細かいことですが、駐車場にEVスタンドなどを設けるのか御検討いただけたらありがたいなというのと、それから、旅館さんの方から伺ったのが、温泉の洗面所について、「広めにしたほうが良いよ」という意見をいただいております。理由は、特に女性の方がドライヤー等で髪を乾かされるとかで、お時間が20～30分かかるそうです。そうなったら、今回、仕様の中で男女入れ替えになっていたりしているの、片方だけ広くという訳にはいけないと思うのですが、洗面所のスペースは少し御検討いただけたら良いかなと思います。

【事務局】まず、1点目の御質問、EVスタンドにつきましては、22ページの「スマートシティの推進」というところで、カーシェアリング・シェアサイクルというものを考えております。そうした中で、いわゆるEV車で来られる方にも、何らかの形でそういった設備は必要だろうと思しますので、検討させていただけたらと思います。そして、洗面所につきまして、男女の入れ替えとなると、先ほどのドライヤーの話などもあろうかと思ます。引き続き検討させていただきたいと思ますし、様々な検討をしている中だと、例えば、女性は午前中ですとか、朝に入られる傾向が多かったり、男性は夜に入られる傾向があったり、他の温浴施設でも入れ替え時間帯を工夫されているような施設もございますので、それを参考にしながら、引き続き検討させていただけたらと思います。

【鶴会長】その他、いかがでしょうか。私の方からよろしいですか。施設のエレベーションについては、周囲の山々と溶け込むようなかたちで、非常に良く練られていると感じます。それで、必要かどうかは事務局で判断してほしいですが、概要版に断面図が一部、最後の方、設備のところに出ていますが、デッキの部分とか、大屋根の採光部分とかがどうなっているかが分かりづらいところがあって、出来れば東西断面と南北断面の簡単なもので結構だと思いますが、それを示した方がよいのではないかと思います。今、この基本設計の段階で示しうるレベルでいいと思しますので、それがあった方が、採光であるとか、換気とか、それから南側の方位とデッキの関係だとか、そういうところを見るときに説明がしやすいかなと思しますので、出来れば東西断面と南北断面を入れていただければ分かりやすいかなと思ます。

【事務局(設計)】御指摘のように、断面図を描き足します。それと、御指摘の風のこと、それから光のことがございますので、シミュレーションを行いまして、風の流れ、それから自然光による照度についてシミュレーションを作りたいと思ます。

【鶴会長】非常に人にやさしい、軒が深いところなどは、模型を見れば分かりますが、図

面に表現されずにもったいないというところもあるので、そういったところも踏まえて、断面図を入れていただければと思います。よろしくお願いします。

それと、17ページの2階部分の活用について、非常に良く分かりやすくなったと思うのですが、事前に打ち合わせをさせていただいた時に、もちまきテラスの部分の利活用、それと東側の屋外部分、そこの関係がもう少し整理されたほうが良いかなと思っていて、通常、市民ギャラリーとして使うということであれば、もう少しバックヤードの部分も必要になるかもしれませんし、今、この外部に少しステップがあって座っているところもあるようですが、この辺のプランをもう少し詰めたほうが良いかなと思いました。1年中餅まきはやらないと思います。ちょっとこの辺の有効活用をもう少し練った方が良いかと感じております。それと最後は、非常にシビアな話だと思いますが、概算事業費の話で、ここでは、22億と書かれていて、これを事務局には説明がつくようにしていただきたいということと、もうひとつは設備費、スマート関係の内容も盛り込まれていますので、そこが今回の事業にインクルードされているのか、されていないのかとか、あまり誤解がないようにしたほうが良いと思います。先ほどのEVスタンドなど、どちらのお金でやるの？とか、ちょっと私もよく分からないですけど、スマート技術を導入するというのが、今回の建設費にインクルードされているのかどうか、実験的な要素が結構盛り込まれていると思います。これからの次世代に向けた施策がこの施設に、建築に盛り込まれて、それが実験的なプログラムになっているのであれば、それは今回の事業費に含めるべきではないかなという風にも思うので、その辺を事務局の方で仕分けをして、純粹にこの建築にかかるお金でやっていかないと、どこか建築を、空間をいじめてしまうことになりかねない。出来れば空間は空間として、クオリティの高いものを準備した上で、実験的な要素は別の事業で盛り込んでいけるようなプログラムが出来れば、そっちの方が良いかなと思います。これは事業費のことなので、事務局の方には御検討いただきたいなと思います。

【事務局】最後、26ページの事業費の部分でございます。ひと段階前の基本計画の段階では、スマートシティ、デジタル化というのが、令和元年度中に策定を進めてきた段階では、今ほど全く世の中の話題に上がってない状況の中で、概算事業費を積算してきたところもあります。なので、こうした部分というのが、その後の社会情勢の変更であったり、設備として今の時代だから必要になってきたようなところもございますので、その対応もしっかりと整理をしていきたいと思っております。

【鶴会長】ぜひ、その辺も御検討いただければと思います。よろしくお願いします。皆さんの方からいかがでしょうか。

【A委員】今、鶴会長から言われたデジタル化の観点について、顔認証だけで全てが完結するとか、顔だけで「この人は何歳だ」とか、判断出来るようになっていきます。GPSを使って、この人はどこから来て、ここの施設を使ってどこに行くのか、そういったデータ

分析が出来るような、次に向けての取組といえますか、そういったものは必要ではないかと思えます。それと、MaaSアプリとか乗り合いタクシーとかありますが、この拠点施設から新山口まではどうやって行ったら一番良いとか、ここから萩へ行くにはどうしたら良いとか、長門へ行くにはどうしたら良いとか、そういう、利用される方が分かりやすいような仕組みとか、それもぜひお願いしたいです。

【事務局】2点ございましたが、1点目、利用者の方のビックデータをしっかり分析したりですとか、湯田のしみ出し、経済効果につながるようなかたち、それと、今、「スマートシティ推進ビジョン」というものを市で策定を進めておりますので、そちらとも連携しながら、しっかり検討していきたいと思っております。そして2点目、観光客の方に分かりやすい形でのサービスデザインをすべきではないかというあたりにつきましても、例えば、県が進めておられるMaaS、あるいは、JRが今年6月に「セトワ」を提供開始されておられますので、そうしたこともしっかり研究させていただきながら、分かりやすいサービスを埋め込みたいなと思っております。

【鶴会長】せっかく模型があるので、模型周辺で議論いたしましょう。事務局から概要を簡単に説明していただくと、分かりやすいと思えます。

【事務局(設計)】(模型を活用しながら説明)まず、こちらが前面道路になっておりまして、前面道路側には噴水広場を設けているような状況になっております。また、前面道路から、先ほどもちょっと御説明させていただいたのですけれど、直接、2階に上っていくような大階段を設けておりまして、2階に上がれるような計画となっております。三角形のところは、噴水になっています。夏に子どもたちに遊んでもらおうと思っております。2階に上がりますと、ぐるっと一周回遊できるような空間となっていると同時に、こちらの地域交流センターも新しく増改築されますので、こちら側にも続いていくような動線ということになっております。真ん中に大屋根広場があり、少しこちらと切り離れたところに温泉施設が、別棟のようなかたちで設けられております。そうすることによって、大屋根広場で比較的賑わいのあるイベントが行われている時にも、温泉施設では静かな環境が保てるような空間づくりを行っております。周囲にはなるべく植栽等を植えまして、温泉施設から見える風景にも少し配慮をしていきたいなと思っております。大屋根広場に戻りますけれども、少し中を開けさせていただきます。屋根は、ふたつの形が重なり合った、山なりが重なり合う感じを表現しようと考えています。二つ重なっているのですけれども、その隙間がトプライトとして、光が入ってくる空間となったり、あとは中の空気がこもらないように、換気できるような場所というふうに使っていきたいと思っております。先ほど、会長のほうから御指摘がありましたように、横から光が入ることと、ハイサイドライトから光が入りますので、昼間の状態で、あまり照明を付けない状態でどのぐらいの基礎的な明るさがあるかについては、シミュレーションしようと思っております。

【鷗会長】さっきもちょっと言いましたが、結構軒が深いので、例えば、少し天気が変わってきたとか、陽射しが強いというときは、軒が深いので、こういうところもうまく使えるかなと考えています。

【事務局(設計)】テーブル等配置をしておりますので、ちょっとぐらいの雨であれば、外で時間を過ごしていただくことも出来ると思います。

【A委員】この屋根は、風の抵抗は大丈夫ですか。

【事務局(設計)】大丈夫です。構造的には、相当な震度でも、それから台風でも全く問題ないです。

風の話にも絡んできますが、大屋根広場については2箇所大きな可動式の間仕切りを設けておまして、台風時にもそれを閉じることで、大屋根に対する風の吹き上げだとか、そういうところも軽減できるという計画となっております。周辺でいいますと、周りが住宅地になっているので、イベント時の音というところは非常に配慮しなければならないだろうということで、特に一番近いところでいくと、こちら側がアパートになっているのですけれど、そちらに面してはなるべく閉じるように壁を設けて、先ほど申し上げた2箇所の可動式間仕切りを閉じることで、中のイベントの音があまり周囲に漏れないような配慮をしていきたいと考えております。

(模型の屋根を開けて)中を開けますとこのような形になっておまして、こちらは普段、大会議室のようなスペースになっていますが、こちらの大屋根広場に対して全面的に開け放つことができるようにしようと思っておまして、そうするとここにステージを設けて、大屋根広場に客席を設ける。場合によっては大階段、2階テラスも使って、大きな1,000人ぐらいのイベントも行えるような空間にしようと考えています。この大屋根広場に面して様々な機能がにじみ出していることをコンセプトとしておまして、例えば、この辺に飲食機能がありますので、そういったテーブル席とかが少し出てきたり、文化体験スペースの展示物も少し、場合によっては前に出して展示物が広がってきたり、こころでヘルスラボが行われる時にはこちらから少し、体操とかヨガみたいなことをやってみたりとか、温浴施設についても基本的には別棟なのですが、休憩室に対しては大屋根広場側にも設けることで、温浴施設に入った後に少しくつろぎながらも、大屋根広場の賑わいを眺めながらお茶を飲んだりとか、そういったことが出来るようなかたちで、周囲を様々な賑わいの要素が取り囲んでいく。ひとりで歩いて来ても、そんなにさみしい感じがしないような空間にしたいなということで、計画をしております。

それから、先ほど御説明申し上げたのですが、アーティストゾーンということで、2階デッキの壁の一部は、子どもが集まって落書きしたりとか、みんなで壁に何か描いたりとか、いろんなことが出来るゾーンにしようということで考えているところです。

それから、ちょっと、さっき聞いた話で恐縮なのですが、カピバラについて山口大学で温泉の研究をされている話がありました。

【A委員】昨日の新聞に出ていましたね。

【事務局(設計)】お湯で健康になっているそうです。例えば、「カピバラ温泉」でも作って、子どもたちが周りで足湯に入りながらくつろいでいる様子を見るというのもSNSなどで評判になるのではないかと考えています。

【A委員】美肌の湯の売りに良いですね。

【鶴会長】皆さん、質問ございませんでしょうか。

【B委員】バーベキューテラスについて、通路がテーブルとテーブルの間、2mあると表現されていましたが、こちらに来られた方がぐるぐると回られる方も多いと思います。通路は2mで大丈夫でしょうか。

【事務局(設計)】その辺はまた、細かく寸法を見ながら計画をしていきたいと思っています。最低2mとのことなので、少しテーブル等も配置を工夫しながら、しっかりと動線と席がバッティングしないように調整はしたいと思っています。

あとは、あんまり広すぎるのもさみしくなりますので、多少近いぐらいの関係が良いかもしれないなと考えております。

【鶴会長】運用に関係すると思いますが、下のアクティビティが何となく上に出てくるような仕掛けがあった方が良いですね。下でやった結果としてギャラリーが2階に出てくるとか。上下階の関係が密になっていくと、全体的な建築の利活用につながってきます。運用の面ではそういったことを意識して、建築計画に落とし込んでいく、そういうことが必要かなと思いますね。

【事務局(設計)】下の様子が見えるというのがまず、基本だと思います。そこはしっかりやろうと思います。そして、こちらの大階段ですが、下でワイワイしている人たちがさっと上に上がるとか、上で歩いている人が「面白そうだから、ちょっと下へ行って見てみよう、参加しよう」というようなことが起きるような仕掛けを色々、加えていきたいと思っています。それから、さっき御指摘があった、デッドスペースも調整をします。

【鶴会長】さっきも言ったように、出来たら上下が空間的につながったようになって、上下階でアクティビティが一体的に出てくるような使い方が出来るのではないかと考えています。

【事務局(設計)】あと、今考えているのは、外の北側の大階段は、子どもたちが集まって

遊べるような大型遊具のような階段といたしますか、せっかく段差がありますので、今、ボルタリングぐらいしか考えていないのですが、もっとネットがあってよじ登っていくとか、年齢層としては就学前ぐらいの子どもたちも遊べるようなイメージをもっています。車が全然来ませんので、3歳から5歳ぐらいの子どもが走り回っても良い場所になるのではないかという感じにはなっております。

温浴施設の周りに足湯を配置していて、縁側がございまして、子どもが遊ぶ様子を親御さんが足湯に入りながら見るとか、そういったことが出来るかなと考えています。そしてさっきのカピバラなどのアイデアも面白いと思います。

【C委員】大階段がすごく魅力的だと思いますが、安全性とか、この形で手すりが無いとちょっと躓きやすくなっているなと思います。そこに遊具を作ると、例えば、角があると、子どもの安全性がどうか、と思いますが、いかがでしょうか。

【事務局(設計)】大階段の安全性、非常に大事だと思っています。当然バリアフリー、あるいはユニバーサルデザインに準拠する十分にゆったりとした寸法で作るのですが、角とか、手すりを必要などころにつけるですとか、そのあたりも十分注意をしながら、使いやすい階段にしていきたいと思っています。こちらでもちょっと示されておりますが、緑と階段を絡めながら、緑の中を階段で歩いて上がるような、そのようなイメージで作れたら面白いかなと思っております。

【A委員】このあたり(施設周辺)の電柱はどうなりますか。

【事務局(設計)】今、担当部署と話をしていますのは、施設オープン時には写真映えなどを考えますと、まず、前面道路部分はどうしろの取り回しだったりをして、何とか間に合うようなかたちで協議しています。地中化にするのか、最終的に取り回しで済ませるのか、ちょっとまだ煮詰まっていない状況です。

【A委員】せっかく良いものが出来るので、景観を大事にしてほしいなと思います。

【鶴会長】今の話はすごく重要だと私も思っていて、施設の前面道路というのは将来のパスが出来ていきますけれど、都市景観的にも拡幅したりとか、街並みを作るということであれば、中長期的に今のような政策を打っていかないと、きれいなことにならないですね。お金がかかる話なので、大変な話かもしれませんが、ここの通りをしっかりと作り上げるということを目標とするのであれば、やっぱり設備を隠していくというのをやっていった方が良くと思います。何か他にございせんか。よろしいですか。

(着席)

概ね、皆様の方から了解していただいているという認識で、作業を進めていくということでもよろしいでしょうか。概ね、皆さんからは御了解をいただいていると思いますので、

事務局は引き続き、作業を進めていっていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

意見交換については以上ですけれど、今日は御欠席の委員から事前に御意見をいただいているようですので、事務局から紹介をいただけますか。

【事務局】意見を取りまとめたペーパーを今、お配りしています。大きく4点意見をいただきました。「市民利用というコンセプトの中では、違和感なく調和した施設となっているのではないか。ただし、観光という視点から考えると、少しとがった特徴がある施設となっても良いのではないかと。エッジの効いた特徴のある施設となると、建物全体で表現するというのはいろいろ事業費の制約もあるので、設備とかソフト事業の検討として、エッジを立たせてはどうか。あえて、他の地域ではやめてしまったような古いことなんかを掘り起こしてやってはどうだろうか。そして、施設が目指す姿が実現できるような施設運営者の選定に向けて、引き続き検討を深めていただきたい。」という、御意見をいただいたところです。

【鶴会長】この「少しとがった特徴」とか、「エッジの効いた特徴」とか、具体的にはどういうことと理解するのでしょうか。

【事務局】本当にアイデアベースで出た話ではありますが、例えば、ソフト事業の設備であると、山口は地酒が有名なので、地酒の試し飲み自販機なんかを置いたとすれば、申し訳程度に置くのではなくて、山口県内の全種類が飲めるといったような、ひとつひとつのソフト事業を考えると、やりきりようなかたちで、エッジを効かせてほしいというような御意見の主旨と考えております。

【鶴会長】観光という切り口がちょっと弱いのではないかと、という御指摘ですかね。

【事務局】そうです。

【鶴会長】確かにこの施設はコンセプトにもあるように、まず、市民に対して温浴施設、もしくは多世代交流を目的とした施設ということで、専門会議でも議論してきました。観光という点からいくと、どうでしょうか、皆さん。もう少しこうした方が良いということが、もしあれば、皆さんのほうから御意見をいただきたいと思いますが、

【B委員】もちろん、観光という観点でいうと、いかに市外から、市民の方もですが、こちらの温浴施設に魅力があって、「来たい」と思っただけかということになりますが、地域の旅館協同組合さん等もそうなのですが、民業圧迫という観点もありましたので、なかなかそういったところは、この度は難しいのではないかと思います。なので、あくまでも施設運営者による、いかにソフトの良いものを色々企画していただくか、そういった

	<p>ところに注力をしていただけたらと考えています。</p> <p>【鵜会長】ある意味、ハードに期待するというよりも、施設運営者を含めた要はここでのイベントとか企画とか、それが持続可能に続いていけば、観光というかたちで効果が出てくるという、そういうプログラムをしっかりと考えてくださいということだと思うので、これは私もずっと、事務局には伝えていますが、そういったプログラムが得意で、なおかつ、持続的に行える事業者の選定を是非、お願いしたいと思います。先ほど、県内の地酒がという話がありましたが、ここは、アルコールは大丈夫ですか。それはこれからの議論でしょうか。</p> <p>概ね、ソフト事業の話だと思しますので、事務局は、是非、こういう意見を踏まえて、対応をお願いしたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは大体、意見は出尽くしたように思しますので、このあたりで意見交換を終了させていただいてもよろしいでしょうか。それでは、意見交換は以上にさせていただきます。それと事務局は、今日出た意見を踏まえて、概要版をさらに精査していただき、次回、提示していただけたらと思いますので、お願いします。</p> <p>4 今後の日程</p> <p>【鵜会長】それでは次第4 今後の日程につきまして、事務局、よろしいでしょうか。</p> <p>【事務局】今後の日程についてでございます。次回、第5回の会議につきましては1月18日(火)の10時から、場所は「セントコア山口」を予定しております。皆様、引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>【鵜会長】ありがとうございます。次回は年明け、1月18日の10時からです。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、今日の第4回専門会議につきましては以上でメインは終了しましたので、これで終了したいと思います。皆さん、ありがとうございました。それでは事務局にお返しいたします。</p> <p>5 閉会</p> <p>【事務局】皆様方におかれましては、朝早い時間から御協議いただき、たくさんの御意見を賜りまして、ありがとうございました。また次回に向けて、いろいろと検討のほうを進めさせていただきたいと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは以上をもちまして、「第4回多世代交流・健康増進拠点施設整備専門会議」を終了させていただきます。本日はありがとうございました。</p>
会議資料	<p>次第</p> <p>資料1 前回専門会議の意見整理</p> <p>資料2 (仮称)湯田温泉パーク基本設計【概要版】(案)</p>

	資料3 委員名簿 資料4 配席図 資料5 「多世代交流・健康増進拠点施設整備専門会議設置要綱」
--	---